

地域ネットワークニュース

～平成22年11月の勉強会のお知らせ & 10月の勉強会報告～

第157回地域ネットワーク勉強会



地域医療における 救急医療体制とその課題

講師：鹿島労災病院 看護副部長 鈴木恵美子氏

11月17日(水)
午後7時～午後9時
神栖市保健・福祉会館内にて
参加費無料

現在、全国的に救急医療への不安や医師不足が報道等でクローズアップされています。

茨城県においても救急車の利用増加や休日・夜間の初期救急医療体制が十分ではない状況にあり、それぞれの医療機関が機能を適切に発揮できる体制への整備が課題となっています。

鹿島労災病院は鹿行地区における第二次救急病院に指定されており、救急車からの医療要請や市民からの緊急受診などの救急医療に日々対応頂いております。しかし一方で、急増する救急要請に対応が追いつかないことや医師不足など、医療機関としての 限界 があることも事実です。

そこで、今回の勉強会では救急医療の役割と機能を中心に、鹿島労災病院の救急医療の現状や課題を伝えて頂きます。

地域医療の充実に向けて、保健・医療・福祉等の関係者、市民の皆さんと共に救急医療について考える機会にしたいと思います。 ぜひご参加下さい。



初期救急（一次救急）...入院や手術を伴わない医療で、休日夜間急患センターや在宅当番医などで行われる。

二次救急...入院や手術を要する症例に対する医療で、当番日を決めて行う病院群輪番制や共同利用型病院方式がある。

三次救急...二次救急まででは対応しきれない重篤な疾患や多発外傷に対する医療で、救命救急センターや高度救急救命センターなどがある。

お問合せ：電話 0299-93-0294 神栖市社会福祉協議会 まちづくりグループ 三浦

第156回地域ネットワーク勉強会報告 平成22年10月12日開催<参加者21名>

本人・家族のための統合失調症 ビデオ勉強会

今回の勉強会では、統合失調症の症状や治療の重要性、リハビリの大切さを正しく理解できる機会として、ビデオを上映しました。

現在の治療は薬物療法が重要となっております。再発の予防にも服薬は必要であり、薬とのつきあい方の理解について分かりやすく説明されていました。

統合失調症を抱える当事者も登場し、発症時の思いや生活上で欠かせない治療やリハビリ、そして余暇活動のことなど、当事者が日々感じている思いを知ることができました。

《今回上映したビデオ》

・特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構 発行

「本人 家族のための統合失調症講座 (PART1～3)」

・社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団 ビデオライブラリーより借用

「シリーズ統合失調症からの回復(2)-リハビリテーション-」

